

地域とつながる FFG連携プロジェクト



私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、
観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。
今回は、九州工業大学と福岡銀行による産学連携での取り組みについてご紹介します。

九州工業大学と福岡銀行による産学連携での取り組み

九州工業大学（以下、九工大）は1909年創設の九州有数の理系単科大学です。

前ページのGYMLABO特集でも紹介したとおり、戸畑キャンパス（工学部）と飯塚キャンパス（情報工学部）、若松キャンパス（大学院生命体工学研究科）という3つのキャンパスから構成され、学生5616名・研究者数356名（2022年5月1日時点）が在籍しています。

飯塚キャンパスにある九州工業大学大学院情報工学府では、社会から必要とされる人材を輩出するため、新時代の情報プロフェッショナルの育成を目標に掲げ、2022年4月に改組を行いました。改組後の教育カリキュラムでは、数理・データサイエンス・AI教育を充実させ、深い専門知識と俯瞰的視野を持つ技術者を育成する実践的プログラムを提供しています。

この改組においては、産業界と連携しながら各分野の社会実装の現場の実践的な知識・スキルを学ぶ「社会駆動プログラム」として13コースが設定されています。各コースでは、最新の情報技術の応用例を学ぶため、企業や研究所などから招聘した外部講師による提携講義の実施を行っています。

前述の「社会駆動プログラム」の「金融・流通コース」の1つとして、福岡銀行では「ファイナンス・テクノロジー」という講義を2022年5



ボルト棟

月に開所したボルト棟でご提供いたしました。
（期間…2022年6月8日～7月20日、全6回）

本講義では、第1回目は地域共創部が講師となり、銀行業務全般を始め、地域金融機関に現在求められている地方創生の取り組みについてご紹介いたしました。第2回目はビジネス開発部よりフィンテック分野の取り組み（金融機関を取り巻く環境変化とDX化の必要性、FFGやお取引先のDX化推進事例）をご説明した後、グループワークを行い、「IT×金融」というテーマで受講生の皆さんに新しい金融商品（サービス）のアイデアを考えてい



講義の様子



グループワークで意見を交換する学生



座談会

いただきました。第3回目はみんなの銀行（九工大卒業生）から国内初のデジタルバンキングとしての挑戦についてご紹介いたしました。第5回目はグローバルソリューション部がお取引先の海外進出サポートの事例をご紹介した後、シンガポール駐在員事務所とリアルタイムで繋ぎ、現地のフィンテック事情についてお伝えいたしました。最終回の第6回はビジネス開発部の若手行員（九工大卒業生）との座談会を行いました。

今回の取り組みでは、日本の将来を担う九州工業大学院生の皆さんと接することで、私たち自身も大きな刺激を受けました。産学連携での取組などを通じて、これからも地域経済の発展に貢献してまいります。

テーマ・講師

第1回：全体概要（銀行業務）

福岡銀行 地域共創部 副部長 三浦一博

第2回：ビジネス開発部の業務紹介

福岡銀行 ビジネス開発部 部長 浅野俊幸

福岡銀行 ビジネス開発部 デジタル人財育成グループ
主任調査役 里潤也

第3回：新規銀行の取組み

みんなの銀行 デジタルサービスマネジメントグループ 前嶋寿史
Diffeasy エンジニアリングマネージャー 鶴田拓郎

※前嶋・鶴田は九工大卒業生

第4回：グループワーク

第5回：グローバルフィナンシャル業務紹介

福岡銀行 グローバルソリューション部 副部長 三溝尋紀

第6回：銀行業務担当者との座談会（九工大卒業生対応）

福岡銀行 ビジネス開発部 オープンイノベーション推進グループ
副調査役 牛嶋優斗

福岡銀行 ビジネス開発部 オープンイノベーション推進グループ
阿部桜和子

※牛嶋・阿部は九工大卒業生



福岡銀行 地域共創部
（左から）澤水（九工大へ出向中）・麻生
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254

FFGは地域が抱える課題解決や地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取組み事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- まちづくり
- 産業振興
- エネルギー
- 教育文化芸術
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254